

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.1)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
1 西江園明	1 まちづくりについて	<p>(1) 港湾や道路網の整備など、市内での大規模なプロジェクトが着々と進む中で、今後のまちづくりの考え方を問う。</p> <p>(2) 自然災害を含め、あらゆる事態に対応するために、町原地区付近などへ広場（公園）を整備すべきではないか。</p> <p>(3) 移住・定住対策の現状と今後の方向性を問う。</p>	市 長 市 長 市 長 教 育 長
	2 介護保険制度について	<p>(1) 本市における介護保険行政の在り方について問う。</p> <p>(2) 本市では、入院中の方が介護保険制度を利用して住宅改修を行う場合、申請が可能となるのは退院後である。このため、完成までの間、対応に苦慮されている状況にあることから、他自治体のように、入院中でも申請できるような仕組みにすべきではないか。</p>	市 長 市 長
2 小野広嗣	1 施政方針について	<p>(1) 移住定住・交流の促進について 移住交流支援センター「エスプラネード」で移住に関する相談や支援をサポートし、情報発信の充実等を図るとともに定住支援事業の創設、空き家バンクの登録促進事業の創設が掲げられているが、本市のこれまでの移住定住・交流施策の成果と課題について問う。</p> <p>(2) 安心安全な住環境の確保を図る空き家対策について 全国で空き家の増加が社会問題化して久しい。中でも、老朽化が進んでいる家は倒壊の危険性などが懸念され、対策は喫緊の課題である。本市も管理不全な空き家の所有者及び管理者に対して、空家特措法の一部改正に基づき対応するとともに、引き続き危険廃屋の解体及び撤去に係る費用の補助を行い、市民の安心安全な住環境の確保を図っているが、空き家対策の取組状況について問う。</p>	市 長 市 長

一般質問通告書

令和6年3月定例会(No.2)

質問者	件名	要旨	質問の相手方
2 小野広嗣	1 施政方針について	(3) 認知症対策等の充実・推進について 本年1月1日に、共生社会の実現を推進する認知症基本法が施行された。国では、2025年には高齢者の5人に一人が認知症になると推計しており、認知症が私たちにますます身近なものになっている。本市では、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう、介護予防、健康づくり、認知症対策等の充実・推進に取り組むとあるが、その成果と課題について問う。 (4) 情報発信と適切な管理について 広報紙、ホームページ等多様な媒体を活用し、情報発信の充実を図るとともに、情報発信力の向上に取り組み、市民ニーズに合わせた、分かりやすい行政情報の提供に努めるとあるが、各種SNSなど、様々な媒体を活用した広報施策の成果と課題について問う。	市長 市長
	2 教育行政について	(1) 確かな学力の育成については、小・中学校に対してデジタル教科書を導入し、音声教材やモニター等を使用して動画教材等を使用するなど、より効果的で多様性のある授業展開を図り、学習理解度の向上や学習効率の向上に努めるとあるが、これまでの学力向上へ向けた成果と課題について問う。	市長 教育長
3 野村広志	1 防災行政について	(1) 1月に発生した能登半島地震では、道路の寸断等により救助活動の遅れや避難行動に多大な影響があり、孤立集落等も多数発生した。 本市においても今後の大規模災害を想定した場合、どのような事が教訓となったのか。 (2) 施政方針でも、自助・共助の要となるコミュニティの重要性について述べられているが、自主防災組織等の具体的な取組について、どのような考えをもっているのか。	市長 市長
	2 住環境の在り方について	(1) 今後の人口減少や公営住宅の需要等を鑑みた場合、公営住宅の在り方について、具体的な方向性を示していく必要性があるのではないか。 (2) 増え続けている空き家の問題について、施政方針で空き家バンク登録推進事業を創設するとあるが、空き家の現状と具体的な方策を問う。	市長 市長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.3)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
4 永田 梓	1 出産・産後のケアについて	(1) 白血病や脳性麻痺、自閉症、小児難聴の治療にも活用されている「さい帯血」について、民間事業者が運営するさい帯血バンクを活用し、生まれてくる我が子のため、数年間にわたって保管しようとする場合に発生する登録費用を補助できないか問う。 (2) 産後ケア事業として、現在2つの助産院と提携しているが、市民の利用負担額を無料とする考えはないか問う。 (3) 育児中の方に対する心のケアのために、自宅からでもチャットを活用して相談できる体制が構築できないか問う。	市 長 市 長 市 長
	2 施設利用について	(1) 帖五区農産加工研修センター及び松山農産加工センターについて、土・日曜日や祝日の使用ができるよう、会計年度任用職員の雇用形態も含め、関係条例等の整備を行っていく考えはないか問う。	市 長
	3 海水浴場施設の安全について	(1) 令和5年第2回定例会において、ダグリ岬海水浴場での水上バイクによる危険行為を制限する条例が制定できないか質問した。市長は、条例の内容を確認し、早急にできることがあれば対応したい旨で答弁されているが、その後の検討状況について問う。	市 長
	4 生物多様性センターについて	(1) 生物多様性センターのオープンから1年が経過したが、これまでどのような活動が展開されたのか具体的に示せ。 (2) 今後の運営にあたって職員を増員する考えはないか問う。	市 長 市 長
5 栢山 晋司	1 森林の管理と防災について	(1) 木材輸出額は近年増加傾向にある中で、伐採されている山林が市内でも多くみられる状況となっている。事業者に対して、防災や植樹等の保全管理、災害発生時の対応等についての周知はどのようになっているのか問う。	市 長
	2 商業振興について	(1) 都城志布志道路は、令和6年度中に全線が開通する見込みであり、本市の交流人口増加につなげていくような施策の展開が期待されるが、現在どのような議論や検討がされているか問う。 (2) 本年度から、創業に限らず、既に事業を営んでいる場合でも活用が可能な開業支援事業補助金へ変更したところ、多くの開業につながったと聞いている。そこで、さらなる民間活力向上のために、起業者を育成する学びの場を創設する考えはないか問う。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.4)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
5 栢山晋司	3 自主文化事業の今後の展望について	(1) これまで、教育委員会の取組による様々な自主文化事業が実施されているが、内容の決定に至る考え方と、今後の展望について問う。	教 育 長
	4 リサイクル事業について	(1) 「食品リサイクル有機肥料」を活用した取組状況と、今後の展望について問う。	市 長
6 南 利尋	1 人口減少対策について	(1) 人口減少対策について、どのような施策に取り組んでいるのか問う。	市 長
		(2) 次世代の本市を担う若者や移住、定住者の意見や要望を踏まえた新しいまちづくりの方向性を検討すべきではないか問う。	市 長
	2 環境行政について	(1) 令和5年第1回定例会において、埋立処分場の在り方について質問したところ、「バイオマス発電の調査・研究を行う」という旨の答弁があった。進捗状況を問う。	市 長
		(2) 行政目線ではなく、市民目線に立ってごみ処理の在り方を検討すべきではないか問う。	市 長
3 道の駅整備について	(1) 多くの自治体で道の駅が整備され、賑わいを創出している。本市でも、道の駅整備事業にスピード感をもって取り組むべきではないか問う。	市 長	
	(2) 本市には農畜産物、水産物など多くの資源がある。6次産業化の推進を図り日本一の道の駅を目指す考えはないか問う。	市 長	
4 ダグリ岬ベイサイド構想について	(1) 現在の進捗状況を問う。 (2) パラダイス跡地の撤去・解体について多くの市民の意見が届くようになった。対策に取り組むべきだと考えるが今後の対応について問う。	市 長 市 長	
7 小園義行	1 施政方針について	(1) 「市民が主役のまちづくり」「誰一人取り残さないまちづくり」を基に市民目線で市民の立場に立つとの方針で4つの行政経営指針をもって行政運営をされてこられたが現状をどのように認識しているか。 (2) 市民への接遇について7点ほど述べて職員にお願いをしているが、現状をどのように認識しているか。	市 長 市 長
	2 個人情報の在り方について	(1) 自衛隊への名簿提供について質問してきた。提供している事を住民に市報等で周知していくと答弁されてきたが対応を問う。 (2) これまで法的根拠がないと質問してきた。憲法第13条の視点から提供する事をどのように考えるか。	市 長 市 長

一 般 質 問 通 告 書

令和6年3月定例会 (No.5)

質 問 者	件 名	要 旨	質 問 の 相 手 方
7小園 義行	3 虐待防止 条例について	(1) 今回、児童、高齢者、障害者に対する虐待の防止を図る目的で市として条例を策定するとしているが、これまでの施策からどのように変わるのか。	市 長 教 育 長
	4 学校教育 について	(1) 新しく入学する児童の入学に至るまでの経過を問う。 (2) 特別に配慮が必要と思われる児童への対応はどうか。	教 育 長 教 育 長
	5 会計年度 任用職員制 度について	(1) 会計年度任用職員制度の在り方に対する認識を問う。	市 長 教 育 長
8隈元香穂子	1 小児医療 について	(1) 令和6年度の当初予算案に計上されている小児科開設支援事業補助金について、その詳細を問う。 (2) リモート診療・オンライン診療が可能な体制を構築するための検討はされたのか問う。 (3) 本市における予防接種実施医療機関の契約状況について問う。	市 長 市 長 市 長
	2 産婦人科 誘致につい て	(1) 離れた場所でも本拠地に準じた機能を提供する「サテライト方式」の産婦人科又は助産院を誘致できないか問う。 (2) 産後の母親は継続して支援することが必要と考えるが、現状とその在り方について問う。 (3) 産後ケア施設利用にあたって、利用料の全額補助及び利用要件の緩和を検討できないか問う。	市 長 市 長 市 長
	3 災害対策 について	(1) 能登半島地震発生から2か月間ほど経過しているが、本市の災害対策における現状の把握、分析はできているか問う。 (2) プライバシーの侵害や盗難など、避難生活での発生が想定されるトラブルへの対策について十分に議論されているか問う。 (3) 女性を中心とした災害対策チームを設置する考えはないか問う。	市 長 市 長 市 長